

エコアクション21 環境経営レポート

詫磨環境株式会社
詫磨商事有限会社
詫磨運輸株式会社

活動期間：
2023年10月1日
～2024年9月30日
作成日：2025年4月4日



®環境省

エコアクション21

認証番号 0010742



目 次

頁

1	組織の概要（事業者名、所在地、事業の概要、など）
2	事業規模（法人設立年月日、資本金、売上高、組織図、産業廃棄物の処理実績等）
3	課題とチャンスの明確化
4	環境経営方針
5	環境経営計画並びに環境経営目標
6	環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価
10	産業廃棄物処理業の許可の状況
11	廃棄物処理施設等の状況と工程図（中間処理施設）
11	車両台数及び重機台数
12	教育・訓練の実施
15	緊急事態訓練の実施（手順書）
19	スマートメーターエリア&スマートクロックの導入
20	おおいたグリーン事業者認証
21	不法投棄パトロール
23	清掃活動状況
26	実施体制（環境経営計画に基づき実施した取組内容（組織図））
27	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無
28	問題点の是正・予防処置報告
29	代表者による全体の評価と見直し・指示
29	環境に関する苦情、要望の記録

組織の概要

事業者名 詫磨グループ（詫磨環境(株)、詫磨運輸(株)、詫磨商事(有)）
 本社所在地 〒870-0022 大分県大分市大手町1-2-1
 事業の概要 産業廃棄物処理業（中間処理、収集運搬）建設業、運送業、砂利採取販売業
 事業規模等
 事業所所在地

詫磨環境株式会社	本社 米良工場 別府営業所	大分市大手町1丁目2番1号 大分市米良8組 別府市大字鶴見1898-1
詫磨商事有限会社	本社 米良砂利採取場 豊後大野工場	大分市大手町1丁目2番1号 大分市米良8組 豊後大野市大野町宮迫315
詫磨運輸株式会社	本社 米良車庫	大分市大手町1丁目2番1号 大分市米良8組

代表者 代表取締役 詫磨康雄 代表取締役 詫磨公雄

環境管理責任者 詫磨環境（株）営業管理 加納 穂子
 連絡先 〒870-0022 大分市大手町1丁目2番1号
 電話FAX電子メール 097-536-2775
 FAX 097-534-1440
 電子メール info@takuma-group.com

会計年度 10月から9月

法人設立年月日、資本金、売上高、組織図
 事業及び組織見取り図

取組対象法人 代表者	設立	資本金	事業概要	社別 従業員数	EA21対象ガイドライン	
詫磨環境（株） 詫磨康雄	2008/4/1	2000万円	産業廃棄物 処理業	34名	産業 廃 棄 物 処 理 業 ガ イ ド ラ イ ン	建 設 業 ガ イ ド ラ イ ン
			建設業	3名		
詫磨運輸（株） 詫磨康雄	2007/11/1	100万円	トラック運送事業 産業廃棄物 収集運搬業	19名		
詫磨商事（有） 詫磨公雄	1971/4/1	2000万円	砂利採取販売	21名		
サイト別従業員数				77名	74名	3名
サイト別年商				1,839,245千円	1,728,361千円	110,884千円

事業の規模

売上高（千円）

	2023.10～2024.9	2022.10～2023.9	2021.10～2022.9	2020.10～2021.9
詫磨環境株式会社	1,728,361	1,484,496	1,428,806	1,516,640
建設業（詫磨環境）	110,884	118,100	123,759	106,517
詫磨商事有限会社	844,060	611,212	612,028	625,918
詫磨運輸株式会社	308,016	296,861	275,847	288,545
グループ計	2,991,321	2,510,669	2,440,440	2,537,620

詫磨環境（株）

産業廃棄物処理量（単位：屯）

	2023.10～2024.9	2022.10～2023.9	2021.10～2022.9	2020.10～2021.9
汚泥	34,547	26,136	27,699	37,523
コンクリート	124,842	114,349	132,928	160,134
石膏ボード	3,570	3,291	3,833	3,877
がれき類	41,836	34,478	38,068	45,361
合計	204,795	178,254	202,528	246,895

詫磨運輸（株）

産業廃棄物収集運搬量（単位：屯）

	2023.10～2024.9	2022.10～2023.9	2021.10～2022.9	2020.10～2021.9
汚泥	21,830	13,444	12,691	17,243
コンクリート	26,808	31,429	44,180	50,380
石膏ボード	32	54	15	25
がれき類	2,489	1,069	1,772	3,531
合計	51,159	45,996	58,658	71,179

詫磨商事（有）（詫磨環境販売数量）

砂利採取販売出荷量（単位m3）

	2023.10～2024.9	2022.10～2023.9	2021.10～2022.9	2020.10～2021.9
生工用	60,858	70,496	74,439	66,900
再生骨材	120,491	108,500	98,241	118,345
豆砂利	50,803	56,513	50,268	48,740
埋戻用砂	48,724	49,532	49,009	45,740
左官用砂	6,745	6,510	7,038	7,172
碎石	18,799	20,949	17,772	20,534
真砂土	20,745	20,667	15,836	22,258
土	31,626	47,286	35,726	38,135
その他	1,155	467	1,103	1,384
計	359,946	380,920	349,432	369,208

詫磨環境

建設業施工実績

	2023.10～2024.9	2022.10～2023.9	2021.10～2022.9	2020.10～2021.9
件数	63件	66件	74件	79件
金額	110,884	118,100	123,759	106,517

課題とチャンスの洗い出し

項目	内容
チャンス	業績を伸ばすチャンス
	企業イメージ、知名度の向上のチャンス
	SDG s に沿った製品の実現のチャンス
	人手不足を解消するチャンス
	100年企業を目指すチャンス
事業内容	全事業
課題	設備の更新に費用がかかる課題
	価格競争に巻き込まれない様にする課題
	エネルギー大量消費（電気・軽油の大量使用）の課題
	I Tで電子化かつ効率化できるか課題
	従業員の労働環境。待遇改善の推進
	人手不足を解消しなければならない
	社内ルールの明文化の推進
	地域貢献活動を推進
	社員教育の推進
	環境に配慮した製品の開発の推進
事業を 取り巻く状況	大型で高価な設備が多いので、初期投資が高額になる
	プライスリーダー的な存在になることができるか
	砂利製造設備や産業廃棄物処理設備が大型のモーターを使用するので、電気省エネができるか
	建設機械、大型ダンプ等運搬具が軽油を使うので化石燃料省エネができるか
	利益を福利厚生に還元できるようにしなければならない
	土木系の産業は、若い人材が集まりにくいので困る
	手順を明確にできるか
	以前は地元の小学校の工場見学などの依頼があったが最近はない
	コロナウイルス対策で行えていないので、勉強会をした方が良い
	山林の掘削を行う業種なので、植林等をする
	同業者と関連法規の勉強会をした方がいい
事業と環境とのかわり	環境負荷が大きいと感じている

弊社は産業廃棄物を貴重な資源だと考えています。

詫磨グループはリサイクルのプロフェッショナルとして、限りある資源を有効利用して参りました。循環型社会を実現し、次の世代に資源と豊かさを残していくことが私たちの使命だと考えています。

50年後、100年後も安心して暮らせる豊かな未来につながるように、私たちはこれからも、環境問題に真摯に取り組むことを誓約します。

各種リサイクル事業

近代的なリサイクルプラントをいち早く取り入れ、コンクリート、石膏ボード、汚泥等の産業廃棄物を受け入れ、資源としてリサイクルしています。また、SDGsに沿ったリサイクル製品の品質向上にも力をより一層取り組むことを誓約します。

建築資材販売事業

骨材（砂、砂利）は社会に必要不可欠な基礎建築資材です。しかし今後、環境問題、自然の保全等により、資源の確保は深刻な問題となっていくと考えられています。自然環境に配慮し、SDGsに沿った骨材資源の安定供給に取り組むことを誓約します。

解体工事及び土木工事業

建物の解体、土木工事業を手がけており、建物の解体から廃棄物の処理を行い、きれいな更地として整えるまでの全ての作業が自社で行います。他社や下請け業者を仲介せず、すべてを自社で完結できるのは強みでもあります。

弊社は廃棄物を回収し、資源として再生するプロフェッショナルとしての自覚を持ちます。

限りある資源を有効に再利用しています。弊社が扱う産業廃棄物は、改良土や再生ランなどに生まれ変わり、公園や駐車場、道路の下地など、あらゆる場所で活用されています。

また、環境経営の継続的改善を誓約し、関連法規などの遵守を誓約します。

制定日：2015年3月15日

改定日：2022年4月1日

代表取締役 詫磨康雄

代表取締役 詫磨公雄

環境経営目標

取組項目	基準値	目標			
	2022年10月～2023年9月	2023年10月～2024年9月	2024年10月～2025年9月	2025年10月～2026年9月	
売上百万円に対して CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	2,206	2,184	2,162	2,140	
CO ₂ 排出量把握 (kg-CO ₂)	3,534,774	3,499,426	3,464,432	3,429,788	
電力使用量把握 (kwh)	2,003,150	1,983,119	1,963,287	1,943,654	
軽油使用量把握 (ℓ)	1,104,820	1,093,772	1,082,834	1,072,006	
ガソリン使用量把握 (ℓ)	34,138	33,797	33,459	33,124	
水使用量	地下水を毎分10000リットルのくみ上げており、工場内を循環使用しているので、使用量を把握が困難なので、活動目標を目標とする。				
廃棄物リサイクル率 (建設業)	85%	85%	85%	85%	
(産廃) 廃棄物排出量の削減。廃棄物の再資源化の推進、3R活動など。 事業系一般廃棄物を袋単位で実績把握を行い、改めて目標設定を行う。					
(産廃) 自ら受託した産業廃棄物の収集運搬処分における環境配慮サービスも改善を随時行っていく。収集運搬の効率化の推進、受託した産業廃棄物の再資源化の推進、最終処分なし。					
(建設) 自らが施工販売提供する製品の環境性能向上サービスの改善を行う。環境改善に資する製品サービスの開発販売施工技術、建築物、工作物等の環境性能改善、顧客満足度の向上、差別化によるシェア拡大を狙う。					
(建設) ゴミゼロミッション施工の推進、仮設材等の再利用、建設廃棄物の分別の向上					

※購入電力の排出係数は、令和4年実績、令和5年12月22日付、環境省、経済産業省公表分を使用しています。

(九州電力0.407 k g -Co₂/Kwh / 日本テクノ0.000 k g -Co₂/Kwh)

※原単位の計算は、詫磨環境の売上を分母として計算しています。

環境経営計画 (期間:2019.10.1 ～ 2024.9.30)

環境取組目標	活動項目	責任者
電化使用量の削減	空調の更新を順次行う	各 部 門 責 任 者 及 び 社 員
	照明をLEDへの更新を順次行う	
	空調温度の適正化 (夏季26℃、冬季22℃を奨励)	
	照明・PC電源不要時の電源オフ又は省電力モードにする	
	クールビズの実施	
軽油・ガソリン使用量の削減	エコドライブの教育・実施等	
	停車中のアイドリングストップ、急発信の抑制	
廃棄物の削減	★分別ルールの徹底	
	廃棄物置場の整備	
	産廃業者との契約締結	
	ペットボトル等の分別	
	★電子契約、電子マニフェストの推奨	
水使用量の削減	事業系一般廃棄物の排出実績把握 (袋単位→重量へ)	
地域貢献活動	漏水の点検、節水に努める。	
	不法投棄パトロール 工場内外の清掃活動	

★・・・重点方策

環境経営実績

取組項目	2023年10月～2024年9月		
	目標	実績	達成率
売上百万円に対してCO ₂ 排出量	2,184	1,717	127%
CO ₂ 排出量実績値 (kg-CO ₂)	3,499,426	3,157,456	111%
電力使用量把握 (kwh)	1,983,119	2,242,254	88%
軽油使用量把握 (ℓ)	1,093,772	1,163,592	94%
ガソリン使用量把握 (ℓ)	33,797	25,847	131%
水使用量	工場内循環使用を行い、河川等への排出を行わない。		○
廃棄物リサイクル率 (建設)	85.0	91.9	108%
(産廃) 廃棄物排出量の削減。 廃棄物の再資源化の推進、3R活動など。 事業系一般廃棄物を袋単位で実績把握を行い、改めて目標設定を行う。			○
(産廃) 自ら受託した産業廃棄物の収集運搬処分における環境配慮サービスも改善を随時行っていく。収集運搬の効率化の推進、受託した産業廃棄物の再資源化の推進、最終処分なし。			○
(建設) 自らが施工販売提供する製品の環境性能向上サービスの改善を行う。 環境改善に資する製品サービスの開発販売施工技術、建築物。工作物等の環境性能改善、顧客満足度の向上、差別化によるシェア拡大を狙う。			○
(建設) ゴミゼロ施工の推進、仮設材等の再利用 建設廃棄物の分別の向上。			○

【全体の評価】

電力・軽油の使用量は昨年度よりも増加したが、電力会社の変更がありCO₂排出量は目標値の2割減。今回は元々の電力と入り混じっての統計のため、次回の設定目標が今後の基準となる。

※購入電力の排出係数は、令和4年実績、令和5年12月22日付、環境省公表分を使用

(九州電力0.407 kg-Co₂/Kwh / 日本テック0.000 kg-Co₂/Kwh)

※原単位の計算は、詫磨環境の売上を分母として計算しています。

産業廃棄物処理業

			10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
売上100万円に 対してのCO2排出量 (kg)	計画	2023/10-2024/9	2,316	2,316	2,316	2,316	2,316	2,316	2,316	2,316	2,316	2,316	2,316	2,316	2,316
	実績	2023/10-2024/9	2,378	1,845	2,360	1,757	1,657	1,870	1,859	1,478	1,774	1,275	2,245	1,542	1,797
	評価	随時	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	確認	半期毎	売上は好調であるが電気の使用量が目標値におさまらず。稼働プラントが増えたことによるものであるため来期の計画時に数字を見直す必要あり。												
売上 (単位千円)	計画	2023/10-2024/9	123,675	123,675	123,675	123,675	123,675	123,675	123,675	123,675	123,675	123,675	123,675	123,675	1,484,102
	実績	2023/10-2024/9	123,489	145,363	121,334	121,396	134,624	149,713	151,171	153,348	162,413	193,776	111,735	160,014	1,728,381
	評価	随時	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
CO2排出量 (kg-CO2)	計画	2023/10-2024/9	286,432	286,432	286,432	286,432	286,432	286,432	286,432	286,432	286,432	286,432	286,432	286,432	3,437,180
	実績	2023/10-2024/9	293,596	268,251	286,401	213,341	223,010	279,976	281,071	226,688	288,166	247,016	250,879	246,763	3,105,158
	評価	随時	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
電気使用量 (kwh)	計画	2023/10-2024/9	166,480	172,677	180,171	184,344	180,900	182,428	151,827	138,138	153,190	161,270	144,717	166,976	1,983,119
	実績	2022/10-2023/9	168,162	174,421	181,991	186,206	182,727	184,271	153,361	139,533	154,737	162,899	146,179	168,663	2,003,150
	実績	2023/10-2024/9	171,332	172,965	175,467	183,695	183,855	211,530	201,359	199,671	202,656	194,359	154,268	191,097	2,242,254
	評価	前年比減	(3170)	1456	6524	2511	(1128)	(27259)	(47998)	(60138)	(47919)	(31460)	(8089)	(22434)	(239104)
	評価	随時	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
軽油使用量 (L)	計画	2023/10-2024/9	81,812	90,340	93,257	65,928	78,634	99,160	95,772	80,225	102,157	87,676	87,577	110,304	1,072,842
	実績	2022/10-2023/9	82,638	91,253	94,199	66,594	79,428	100,162	96,739	81,035	103,189	88,562	88,462	111,418	1,083,679
	実績	2023/10-2024/9	84,866	101,468	108,053	79,897	83,506	105,878	106,073	85,499	109,695	93,055	94,715	92,968	1,145,673
	評価	前年比減	(2228)	(10215)	(13854)	(13303)	(4078)	(5716)	(9334)	(4464)	(6506)	(4493)	(6253)	18450	(61994)
	評価	随時	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
ガソリン使用量 (L)	計画	2023/10-2024/9	3,046	2,709	2,406	2,108	2,574	2,197	2,684	2,221	2,651	2,687	2,288	2,671	30,241
	実績	2022/10-2023/9	3,077	2,736	2,430	2,129	2,600	2,219	2,711	2,243	2,678	2,714	2,311	2,698	30,546
	実績	2023/10-2024/9	2,077	1,963	1,741	1,590	2,022	1,944	2,396	1,903	1,562	2,232	1,794	2,008	23,232
	評価	前年比減	1000	773	689	539	578	275	315	340	1116	482	517	690	7314
	評価	随時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水使用量使用量 把握困難	計画	2023/10-2024/9	直径300mm管が150m掘削し毎分10000リットルのくみ上げており、工場内を循環使用しているので、使用量を把握が困難なので、活動目標を目標とする。												
	実績	2023/10-2024/9	工場内循環使用を行い、河川等への排出を行わない。												
	評価	随時	○												
化学物質使用量 該当なし	計画	2023/10-2024/9													
	実績	2023/10-2024/9													
	評価	—													

建設業

			10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
売上100万円に 対してのCO2排出量	計画	2023/10-2024/9	527	527	527	527	527	527	527	527	527	527	527	527	527
	実績	2023/10-2024/9	1,389	71	1,136	526	1,718	216	1,209	661	680	903	1,486	266	472
	評価	随時	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○
	確認	半期毎	昨年度と比較し、工事規模が大きいものがあり使用量がほとんどの月で増え、目標未達成。												
売上 (単位千円)	計画	2023/10-2024/9	9,843	9,843	9,843	9,843	9,843	9,843	9,843	9,843	9,843	9,843	9,843	9,843	118,114
	実績	2023/10-2024/9	5,640	42,224	4,448	7,107	3,138	17,383	7,816	3,480	6,342	4,907	677	7,695	110,853
	評価	随時	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
CO2排出量 (kg-CO2)	計画	2023/10-2024/9	5,187	5,187	5,187	5,187	5,187	5,187	5,187	5,187	5,187	5,187	5,187	5,187	62,246
	実績	2023/10-2024/9	7,834	2,978	5,054	3,736	5,392	3,759	9,450	2,299	4,316	4,429	1,006	2,045	52,298
	評価	随時	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
電気使用量 (kWh)	計画	2023/10-2024/9													
	実績	2023/10-2024/9													
	評価	—													
軽油使用量 (L)	計画	2023/10-2024/9	1,311	926	1,108	1,091	2,002	1,554	1,229	2,796	730	693	2,332	5,159	20,930
	実績	2022/10-2023/9	1,324	935	1,119	1,102	2,022	1,570	1,241	2,824	737	700	2,356	5,211	21,141
	実績	2023/10-2024/9	2,763	978	1,787	1,334	1,984	1,289	3,323	837	1,411	1,490	185	538	17,919
	評価	前年比減	(1439)	(43)	(668)	(232)	38	281	(2082)	1987	(674)	(790)	2171	4673	3222
	評価	随時	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○
ガソリン使用量 (L)	計画	2023/10-2024/9	243	348	426	402	316	311	233	219	324	434	84	218	3,556
	実績	2022/10-2023/9	245	352	430	406	319	314	235	221	327	438	85	220	3,592
	実績	2023/10-2024/9	304	196	191	127	118	187	378	60	291	252	228	283	2,615
	評価	前年比減	(59)	156	239	279	201	127	(143)	161	36	186	(143)	(63)	977
	評価	随時	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○
水使用量使用量	計画	2023/10-2024/9	現場により変化があるため使用量の把握のみ												
	実績	2023/10-2024/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	評価	随時													

グループ全体

			10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
売上100万円に 対してのCO2排出量 (kg)	計画	2023/10-2024/9	2,184	2,184	2,184	2,184	2,184	2,184	2,184	2,184	2,184	2,184	2,184	2,184	2,184
	実績	2023/10-2024/9	2,334	1,446	2,317	1,689	1,658	1,698	1,827	1,460	1,733	1,266	2,241	1,484	1,717
	評価	随時	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	確認	半期毎	売上は好調であるが電気の使用量が目標値におさまらず。稼働プラントが増えたことによるものであるため来期の計画時に数字を見直す必要あり。												
売上 (単位千円)	計画	2023/10-2024/9	133,525	133,525	133,525	133,525	133,525	133,525	133,525	133,525	133,525	133,525	133,525	133,525	1,602,301
	実績	2023/10-2024/9	129,129	187,587	125,782	128,503	137,762	167,096	158,987	156,828	168,755	198,683	112,412	167,709	1,839,234
	評価	随時	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
CO2排出量 (kg-CO2)	計画	2023/10-2024/9	291,619	291,619	291,619	291,619	291,619	291,619	291,619	291,619	291,619	291,619	291,619	291,619	3,499,426
	実績	2023/10-2024/9	301,430	271,229	291,455	217,077	228,402	283,735	290,521	228,987	292,482	251,445	251,885	248,808	3,157,456
	評価	随時	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
			10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
電気使用量 (kwh)	計画	2023/10-2024/9	166,480	172,677	180,171	184,344	180,900	182,428	151,827	138,138	153,190	161,270	144,717	166,976	1,983,119
	実績	2022/10-2023/9	168,162	174,421	181,991	186,206	182,727	184,271	153,361	139,533	154,737	162,899	146,179	168,663	2,003,150
	実績	2023/10-2024/9	171,332	172,965	175,467	183,695	183,855	211,530	201,359	199,671	202,656	194,359	154,268	191,097	2,242,254
	評価	前年比減	(3170)	1456	6524	2511	(1128)	(27259)	(47998)	(60138)	(47919)	(31460)	(8089)	(22434)	(239104)
	評価	随時	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
			10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
軽油使用量 (L)	計画	2023/10-2024/9	83,122	91,266	94,365	67,019	80,636	100,715	97,000	83,020	102,887	88,369	89,910	115,463	1,093,772
	実績	2022/10-2023/9	83,962	92,188	95,318	67,696	81,450	101,732	97,980	83,859	103,926	89,262	90,818	116,629	1,104,820
	実績	2023/10-2024/9	87,629	102,446	109,840	81,231	85,490	107,167	109,396	86,336	111,106	94,545	94,900	93,506	1,163,592
	評価	前年比減	(3667)	(10258)	(14522)	(13535)	(4040)	(5435)	(11416)	(2477)	(7180)	(5283)	(4082)	23123	(58772)
	評価	随時	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
			10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
ガソリン使用量 (L)	計画	2023/10-2024/9	3,289	3,057	2,831	2,510	2,890	2,508	2,917	2,439	2,975	3,120	2,372	2,889	33,797
	実績	2022/10-2023/9	3,322	3,088	2,860	2,535	2,919	2,533	2,946	2,464	3,005	3,152	2,396	2,918	34,138
	実績	2023/10-2024/9	2,381	2,159	1,932	1,717	2,140	2,131	2,774	1,963	1,853	2,484	2,022	2,291	25,847
	評価	前年比減	941	929	928	818	779	402	172	501	1152	668	374	627	8291
	評価	随時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

産業廃棄物処理業（中間処理）：詫磨環境（株）

大分市 許可番号08820143876

許可年月日2018年8月14日 有効年月日 2025年8月13日

事業範囲（処分の方法ごとに区分して取り扱う産業廃棄物の種類（当該産業廃棄物石綿含有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。））

事業の区分

中間処理：（破碎、脱水、破碎・分別）

産業廃棄物の種類

中間処理（破碎）：がれき類、ガラスくず及び陶磁器くず、鋳さい

中間処理（脱水）：汚泥（有機汚泥及び無機汚泥）

中間処理（固化）：汚泥（有機汚泥及び無機汚泥）ガラスくず及び陶磁器くず

中間処理（破碎・分別）：ガラスくず及び陶磁器くず（廃石膏ボードに限る。）

産業廃棄物等収集運搬概要一覧表

区分	許可権者	大分県	大分市	福岡県	熊本県	佐賀県	宮崎県	鹿児島県	長崎県	大分県
	グループ会社名	詫磨運輸	詫磨運輸	詫磨運輸	詫磨運輸	詫磨運輸	詫磨運輸	詫磨運輸	詫磨運輸	詫磨環境
	許可年月日	2023/1/25	2021/6/9	2020/10/8	2020/6/29	2021/9/20	2020/11/30	2020/10/27	2022/3/30	2024/1/30
	許可期限	2028/1/24	2026/5/26	2025/10/7	2025/6/28	2026/9/19	2025/11/29	2025/10/26	2027/3/29	2029/1/29
	許可番号	04412140296	08810140296	04000140296	04305140296	04101140296	04500140296	04602140296	04200140296	04402143876
産業廃棄物	収集運搬品目	燃え殻	●	●	●	●	●	●	●	●
		汚泥（有機汚泥、無機汚泥）	●	●	●	●	●	●	●	●
		廃油	●	●	●	●	●	●	●	●
		廃酸	●	●	●	●	●	●	●	●
		廃アルカリ	●	●	●	●	●	●	●	●
		廃プラスチック類	●	●	●	●	●	●	●	●
		紙くず	●	●	●	●	●	●	●	●
		木くず	●	●	●	●	●	●	●	●
		繊維くず	●	●	●	●	●	●	●	●
		動物性残さ	●	●	●	●	●	●	●	●
		ゴムくず	●	●	●	●	●	●	●	●
		金属くず	●	●	●	●	●	●	●	●
		ガラスくず等（廃石膏ボード含む）	●	●	●	●	●	●	●	●
		鋳さい	●	●	●	●	●	●	●	●
		がれき類	●	●	●	●	●	●	●	●
		動物のふん尿	●	●	●	●	●	●	●	●
		ばいじん	●	●	●	●	●	●	●	●
		特管でない石綿含有産業廃棄物	●	●	●	●	●	●	●	●
		特管でない水銀使用製品産業廃棄物	●	●	●	×	●	×	×	●
		特管でない水銀含有ばいじん等	×	●	●	×	×	×	×	×
	積替	廃プラスチック類	●							
	保管	がれき類	●							
特別産業廃棄物	許可年月日	2023/1/25		2020/12/2	2021/12/27		2020/11/30			2024/1/30
	許可期限	2028/1/24		2025/12/1	2026/12/26		2025/11/29			2029/1/29
	許可番号	04452140296		04050140296	04355140296		04550140296			04452143876
	品目	廃石綿等	●	●	●		●			●

積替え保管の内容

(1) 積替保管場所所在地	大分県別府市大字鶴見字ツツラ1898番1
(2) 積替保管を行う産業廃棄	がれき類
(3) 積替保管面積	172.51m ²
(4) 保管上限	99.95m ³
(5) 保管の高さ	1.93m
(6) 保管の条件	なし

建設業

詫磨環境(株) 大分県 許可番号 一般第0130706 有効期限 2029年9月4日

砂利採取販売業：詫磨商事（有）

大分県 登録番号 第2454 登録日 1979年12月17日

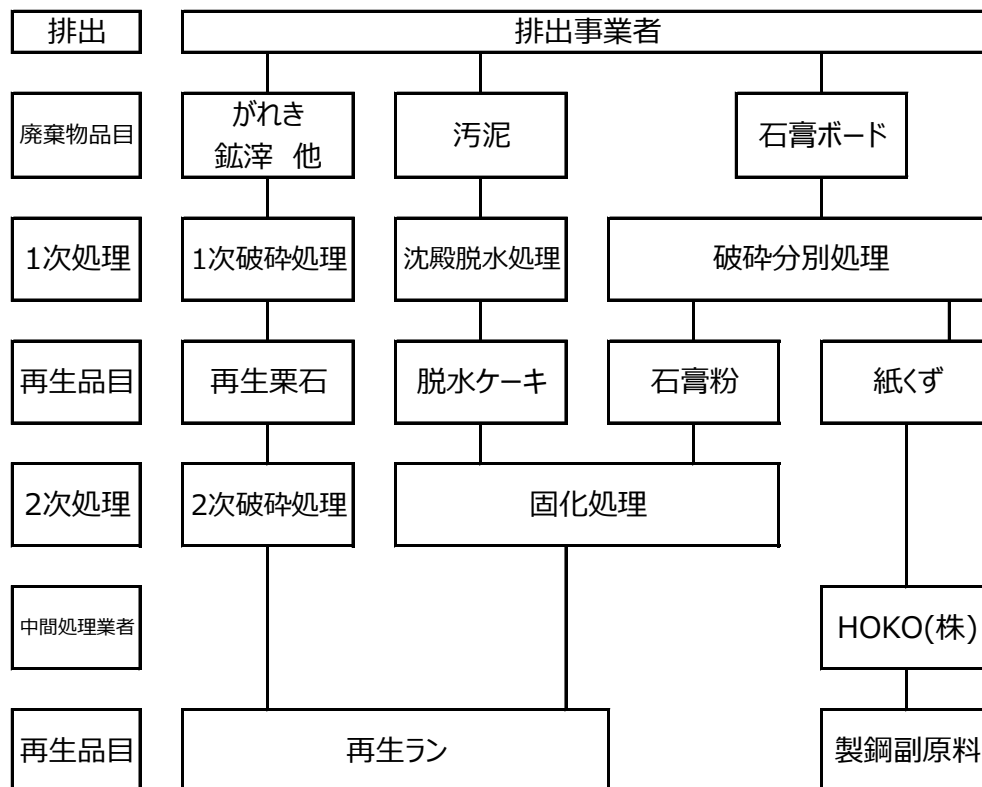
一般貨物運送業

詫磨運輸(株) 九州運輸局 九運貨物第606号 許可日 2004年9月29日

中間処理施設及び処理能力

- 1、破碎施設（コーンクラッシャー） 960t/日
- 2、破碎施設（ディスククラッシャー） 960t/日
- 3、破碎施設（ジョークラッシャー） 1,400t/日
- 4、破碎施設（インパクトクラッシャー） 2,960t/日
- 5、脱水施設480 t /日
- 6、固化施設240 t /日
- 7、破碎分別施設35 t /日

産業廃棄物処理工程



車両台数及び重機台数

<車両>

大型（10 t）ダンプ・・・18台
 中型（4 t）ダンプ・・・5台
 小型（2 t）ダンプ・・・4台
 大型アームロール・・・1台
 大型バキューム・・・1台

<重機>

油圧ショベル・・・27台
 タイヤショベル・・・8台
 ブルドーザー・・・1台

教育訓練の実施

日付	項目	実施
2023年11月24日(金)	建設機械の業務確認と点検徹底	配布物による教育活動
2024年2月14日(水)	リスクアセスメントについて	集合教育
2024年5月2日(木)	重機災害/積荷落下防止 危険箇所の確認	集合教育
2024年7月11日(木)	産業廃棄物適正処理講習会	外部にての集合教育
2024年9月27日(金)	熱中症予防対策の徹底	配布物による教育活動

従業員向けに、配布物による教育と集合にて教育を行いました。

リスクアセスメント

5つのステップで危険・有害性の除去・低減！

活動例

ステップ1 危険性又は有害性の特定

・危険・有害性の高い箇所

・危険性・有害性の程度

・五感で確認できる危険箇所はありますか？

・見落としがちな危険箇所はありますか？

ステップ2 リスクの発現・評価

・リスクを評価して、危険度を決定する

これはかなり起こる可能性がある。重大な災害になりそうだから危険度は高い。

ステップ3 リスク低減措置内容の検討

・危険度の高いものから対策を検討する

対策は？

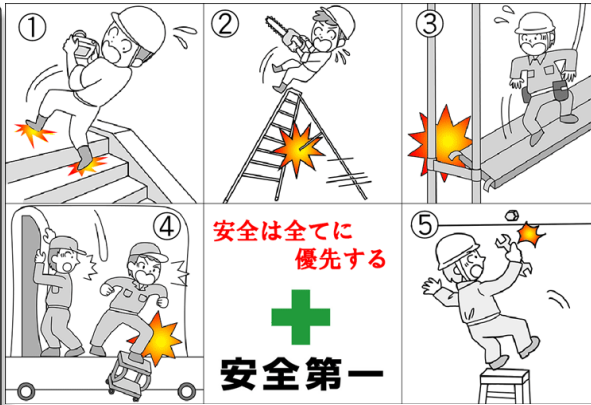
今のところ3メートル以内で作業する。

ステップ4 リスク低減措置の実施

「ヨシ！ やりやめやっちゃんやっちゃん」

「ヨシ！ これならオッケー！」

ステップ5 実施内容の記録



安全は全てに優先する

+

安全第一

● 配布物一部 ●

● 掲示物一部 ●

キャンペーン期間（5月～9月）にすべきこと

STEP 1 暑さ指数の把握と評価

□ JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握

地域を代表する一般的な暑さ指数（環境省）を参考とすることも有効

STEP 2 測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底



環境省
熱中症予防情報
サイト

☐ 暑さ指数の低減	準備期間に検討した設備対策を実施
☐ 休憩場所の整備	準備期間に検討した休憩場所を設置
☐ 服装	準備期間に検討した服装を着用
☐ 作業時間の短縮	作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、作業中止
☐ 暑熱順化への対応	7日以上かけて熱へのばく露時間を次第に延長 ※新規入職者や休み明け労働者に注意
☐ 水分・塩分の摂取	水分と塩分を定期的に摂取
☐ ブレーキング	作業開始前や休憩時間中に深部体温を低減
☐ 健康診断結果に基づく対応	次の疾病を持った方には医師等の意見を踏まえ配慮 ①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢
☐ 日常の健康管理	当日の朝食の未摂取、睡眠不足、前日の多量の飲酒が熱中症の発症に影響を与えることを指導し、作業開始前に確認
☐ 作業中の労働者の健康状態の確認	巡視を頻繁に行い声をかける、労働者お互いの健康状態を留意するよう指導
☐ 異常時の措置	少しでも本人や周りが異変を感じたら、必ず一旦作業を離れ、病院に搬送する（症状に応じて救急隊を要請）などを措置 ※全身を濡らして送風することなどにより体温を低減 ※一人きりにしない

熱中症

警戒アラート

暑さ指数（WBGT）を把握し、暑さ指数に応じた対策をとりましょう。

暑さ指数（WBGT）を把握し、暑さ指数に応じた対策をとりましょう。

暑さ指数（WBGT）を把握し、暑さ指数に応じた対策をとりましょう。

暑さ指数（WBGT）を把握し、暑さ指数に応じた対策をとりましょう

暑さ指数（WBGT）を把握し、暑さ指数に応じた対策をとりましょう。

暑さ指数（WBGT）を把握し、暑さ指数に応じた対策をとりましょう。

暑さ指数（WBGT）を把握し、暑さ指数に応じた対策をとりましょう。

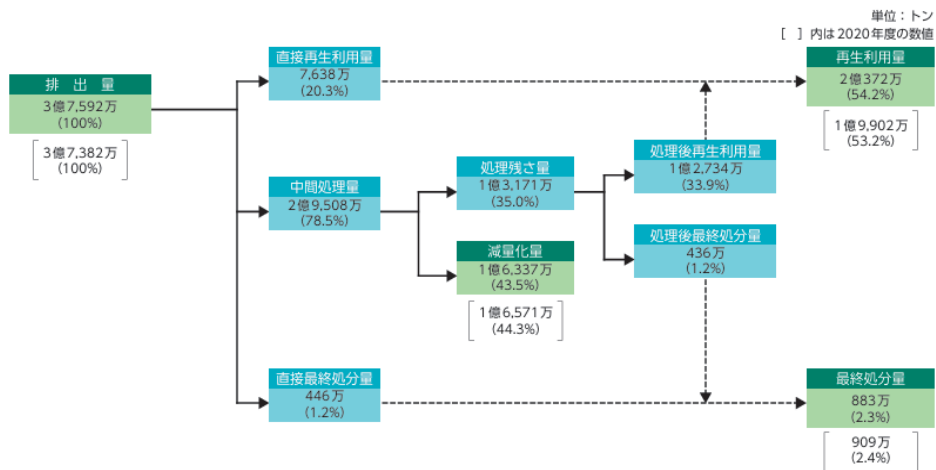
●配布物一例

(1) 産業廃棄物の発生及び処理の状況

2021年度における産業廃棄物の処理の流れ、業種別排出量は、図3-1-15のとおりです。この中で記された再生利用量は、直接再生利用される量と、中間処理された後に発生する処理残さのうち再生利用される量を足し合わせた量を示しています。また、最終処分量は、直接最終処分される量と中間処理後の処理残さのうち処分される量を合わせた量を示しています。

産業廃棄物の排出量を業種別に見ると、排出量が多い3業種は、電気・ガス・熱供給・水道業、農業・林業、建設業（前年度と同じ）となっています。この上位3業種で総排出量の約7割を占めています（図3-1-16）。

図3-1-15 産業廃棄物の処理の流れ（2021年度）



資料：環境省「産業廃棄物排出・処理状況調査報告書」

(イ) 最終処分場の残余容量と残余年数

2022年度末時点で、一般廃棄物最終処分場は1,557施設（うち2022年度中の新設は10施設で、稼働前の4施設を含む。）であり、2021年度から減少し、残余容量は96,663千m³であり、2021年度から減少しました。また、残余年数は全国平均で23.4年です（図3-1-20）。

図3-1-19 最終処分量と一人一日当たり最終処分量の推移

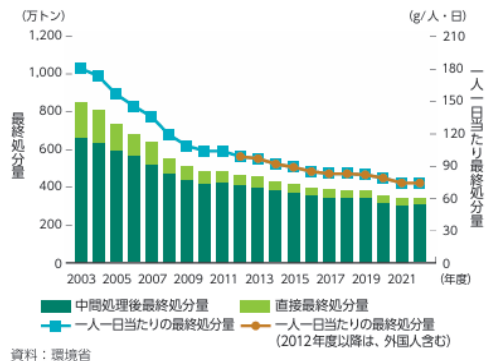
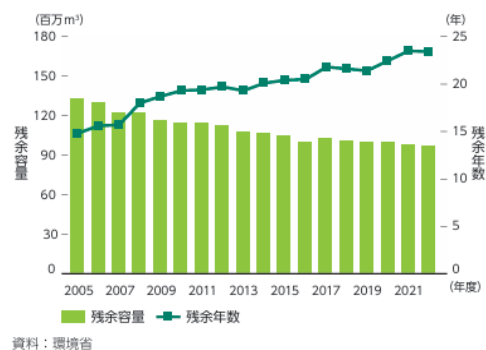


図3-1-20 最終処分場の残余容量及び残余年数の推移（一般廃棄物）



教育訓練の実施

開催日時 令和6年7月11日(木) 13:30~16:00
開催場所 大分センチュリーホテル2階「桜の間」
参加人数 85名
講演内容

(1)「産業廃棄物の適正処理について」

講師:大分県生活環境部循環社会推進課

廃棄物監視指導班 主幹 二宮 崇 氏



二宮 崇 講師

(2)「(株)環境整備産業グループの廃棄物処理について」

講師:株式会社環境整備産業

営業部 マネージャー 岸田 智憲 氏

” チームリーダー 堀 遥香 氏

” チーフ 嶋村 純一 氏

” チーフ 関 謙 氏



株式会社環境整備産業 講師

(3)「大分県内における労働災害の発生状況について」

講師:大分労働局労働基準部

健康安全課地方労働衛生専門官 柴田 健一 氏



柴田 健一 講師



講演会の様子

産業廃棄物とは

燃え殻	汚泥	廃油	酸液	廃アルカリ
廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず コンクリートくず 陶磁器くず	紙くず
がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず
動物性残さ	動物系固形不棄物	動物のふん尿	動物の死体	コンクリート 陶器化物など

■ あらゆる事業活動に伴うもの
 ■ 資源等が特定されるもの
 ■ 上記の産業廃棄物を処分するために処理したもの

産業廃棄物の処理方法・工程



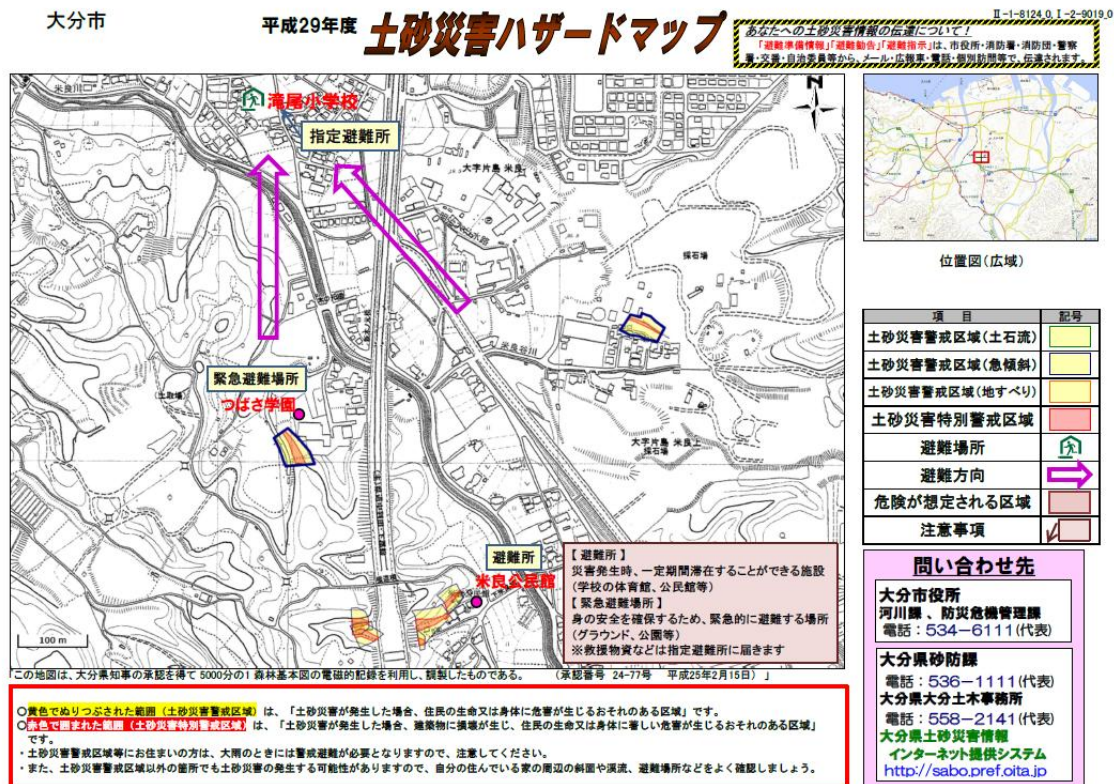
産業廃棄物処理基準とは



緊急事態訓練の実施

2023年11月22日(水)	事業継続力強化計画に基づく緊急事態の 想定と対応策 「地震発生時の対応」	配布物による 教育活動
2024年2月21日(水)	事業継続力強化計画に基づく緊急事態の 想定と対応策 「危険予知への対応」	集合教育
2024年5月24日(金)	事業継続力強化計画に基づく緊急事態の 想定と対応策 「台風豪雨への対応」	配布物による 教育活動
2024年8月23日(金)	事業継続力強化計画に基づく緊急事態の 想定と対応策 「火事発生時の対応」	現地訓練

● 配布物一部 ●



KYT(危険予知訓練)の基本的な手法 KYT 基礎4ラウンド法

職場や作業に潜む危険を発見・把握・解決していくためには、チーム全員の意識が大切です。
KYTの第一歩として、下図のようなイラストシートや、職場の写真などを用いて、
職場に潜む危険について、本音で話し合ってみましょう。

KYT 基礎4ラウンド法のやり方(抜粋)

1R

現状把握

イラストシートを使って
どんな危険が潜んでいるかをグループで話し合う

2R

本質追究

重要と思われる項目を絞り込んで
「危険のポイント」を指差し唱和する

3R

対策樹立

「危険のポイント」を解決するにはどうしたらよいか
具体的な対策案を話し合う

4R

目標設定

対策案から「重点実施項目」を絞り込み、
「チーム行動目標」として掲げ、指差し唱和する

1R「現状把握」のやり方

荷台へ上ろうとして
端につま先をかけたが、
滑ってしまい膝を打つ

荷物を前抱えして運び、
トラックから落ちる

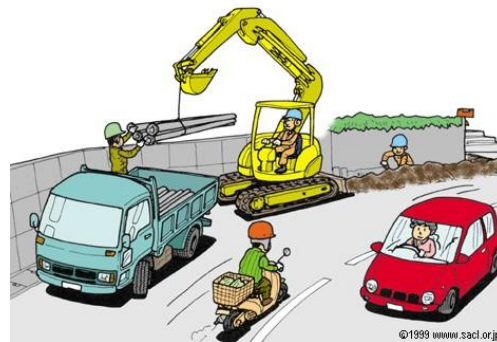
手を下にして荷物を抱え
そのまま台車に下ろし、
荷と荷の間に指を挟む

あんしん財団主催の講習会では、
「KYT 基礎4ラウンド法」の具体的な手法を身に付けることができます。



危険のポイント

1. エンジンが停止していない。
2. バケットを下ろしていない。
3. 二人が同時に動いている。
4. 車体が斜め向きになっている。



危険のポイント

1. 用途外使用で荷が落ちる。
2. ワイヤーのかけ方不備で荷が落ちる。
3. 標識、囲い等がなく、誘導員もいない。



危険のポイント

1. 運転席外からの操作は誤操作を起しやすい。
運転者が転倒したり、掘削作業者がバケットに当てられたりする。

令和6年8月23日（金） 午前11時30分
 天気：晴 気温：35度
 発火元：金属加工場より出火 想定にて訓練
 参加者：溶接加工作業員 2 名
 事務所社員3名
 他作業員5名
 計10名

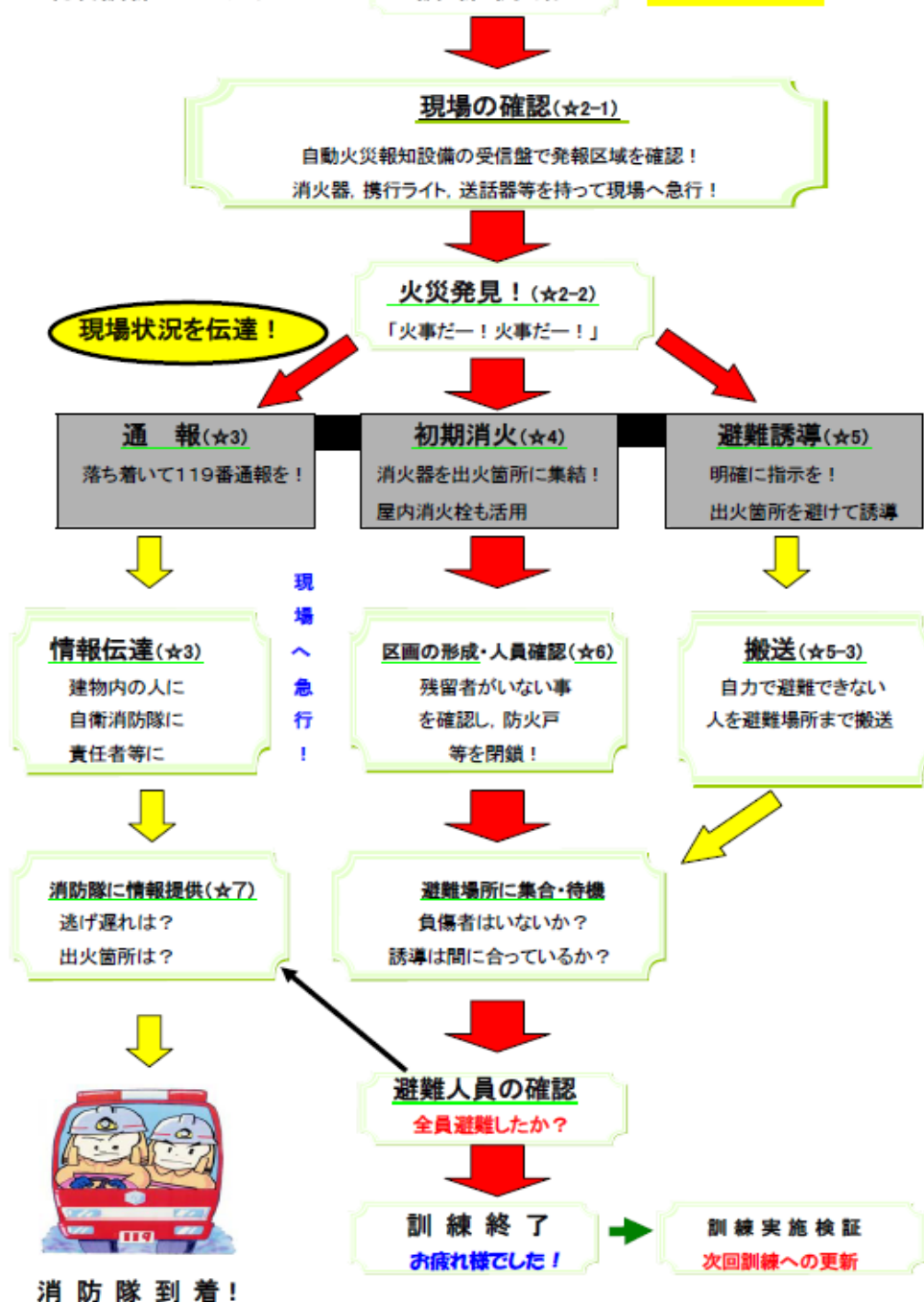


通報・消火・避難訓練実施マニュアル

総合訓練フローチャート

訓練開始！

※()はタイトルNo.



119番通報の例

通報者:119番を発信する。

消 防:「はい、119番消防です。火事ですか？救急ですか？」

通報者:「火事です。」

消 防:「場所はどこですか？」

通報者:「〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇です。」

消 防:「その建物は何階建てですか？燃えているところは何階ですか？」

通報者:「〇階建ての〇階が燃えています。」

消 防:「逃げ遅れた人はいませんか？」

通報者:「〇名が逃げ遅れています。」

消 防:「何が燃えているかわかりますか？」

通報者:「〇〇が燃えています。」

消 防:「近くに目標になる建物がありますか？」

通報者:「〇〇〇〇があります。(〇〇〇〇の北側です。)」

消 防:「あなたのお名前と連絡先を教えてください。」

通報者:「〇〇です。電話は〇〇〇-〇〇〇〇です。」

消 防:「わかりました。すぐ行きます。」



☺ この内容はゆっくり話して約80秒ですが、火災時は**パニック**となり、落ち着いて説明出来ず、時間がかかると考えられます。又、消防計画書に定めた担当者ではなく、**第1発見者が担当**になります。

誰もが説明できるよう、例えば朝礼の際、定期的に全員が口に出して練習する事をお奨めします。電話の近くに紙に書いて貼るのも良いし、**携帯電話**を使用する事も想定して下さい。

- ① 火災の発生を覚知した消火班は、出火場所に消火器を集結し初期消火を行います。(火元付近のもの、別の階から持参したもの等)
- ② 消火器の操作は、まず安全ピンを抜き、ホースを火元に向け、レバーを強く握り、火元に向かって消火薬剤を放射します。できるだけ姿勢を低くして、煙や熱から身を守るように構えます。手前から火元に向けて、ほうきで掃くように操作します。なお、消火実施前には避難経路を確保しておきましょう。消火器の放射時間は約15秒間で、放射距離は約5mです(消火器によって異なりますので、身近にある消火器を確認しておきましょう。)

粉末消火器の使い方



- ①安全ピンを抜く ②ホースの先端を持ち火元にホースを向ける ③レバーを握る

スマートメーターエリア&スマートクロックの導入



SMART CLOCK

スマートクロック

LEDと音声で省エネ行動のタイミングをお知らせする壁掛け時計。スマートメーターエリアのオプションです。電気の使用状況を職場のスタッフ全員が把握することができ自然な省エネ行動を促します。



SMARTMETER ERIA

スマートメーターエリア

電気に馴染みのない方でも直感的にわかるよう、ニコちゃんの表情で使用状況をお知らせします。スマートクロックのコントロールパネルとして、目標値の設定などさまざまな操作を行います。

色の変化で、設定した目標値に対して使用状況をお知らせ



スマートクロックは刻々と変化する電力の使用状況を、高輝度LEDベゼルでお知らせします。スマートメーターエリアの「上手な電気の使い方」で設定した時間ごとの目標設定値に対し、使用状況に応じて表示色が変わります。また、LEDは分針がある側で点灯します(30分を過ぎるとLEDは左側で点灯)。



顔の表情



※設定画面5010で、表示する顔の%変更が可能です。

本日の電気使用量/今月の電気使用量



H003
H004

本日のCO2換算量/今月のCO2換算量



基本操作
目標ボタン：数値入力画面へ、目標値を変更できます
本日/1日前/2日前◀▶：本日のCO2換算量と目標比を表示します
◀▶：前後の画面へ
▲▼：機能なし

【確認できる項目】

- ・デマンド値 (kW)
- ・使用電力量 (kWh)
- ・電力取引単価
- ・室温
- ・CO2

電力会社は最大需要電力計の組み込まれた電子式電力量計

使用された30分ごとの電力量の平均を計量、月間の最大値を最大デマンド値・最大需要電力とする

★独自の省エネメソッド「上手な電気の使い方」1日24時間を30分ごと（1日48コマ）に分け時間に合った使用電力の目標を設定することで、電力ピーク（高さ）と使用電力量（面積）を下げることができる。時間帯・季節・事業場の環境に合わせて具体的な目標設定ができ現場における無理のない省エネ活動を実現。

おおいたグリーン事業者認証取得

◇おおいたグリーン事業者認証制度とは・・・

CO₂削減やプラスチック削減に取り組む事業者を、県がおおいたグリーン事業者として認証し、認証事業者の取組を支援することにより、県内事業者等のCO₂削減やプラスチック削減の促進に貢献することを目的とした制度

* 脱炭素部門102社、脱プラスチック部門26社 認証（R7.4.1時点）



制度の第1回認証
弊社を含め34社
R5.10.24認証

不法投棄パトロール

令和6年度 大分県産業廃棄物適正処理促進事業パトロール報告書

不法投棄パトロールの状況を次のとおり報告します。

報告日 2024年1月25日 木曜日
 支部名： 大 分 支部
 報告者： 垣迫 隼人
 巡回者名： 垣迫 隼人
 垣迫 佑介
 パトロール期日： 2024年1月25日 木曜日
 パトロール時間： 午前9時00分 ～ 午後4時00分まで
 天候： 晴れ
 パトロール地域： 大分/佐賀関地区（地図参照）
 不法投棄の確認： 有り

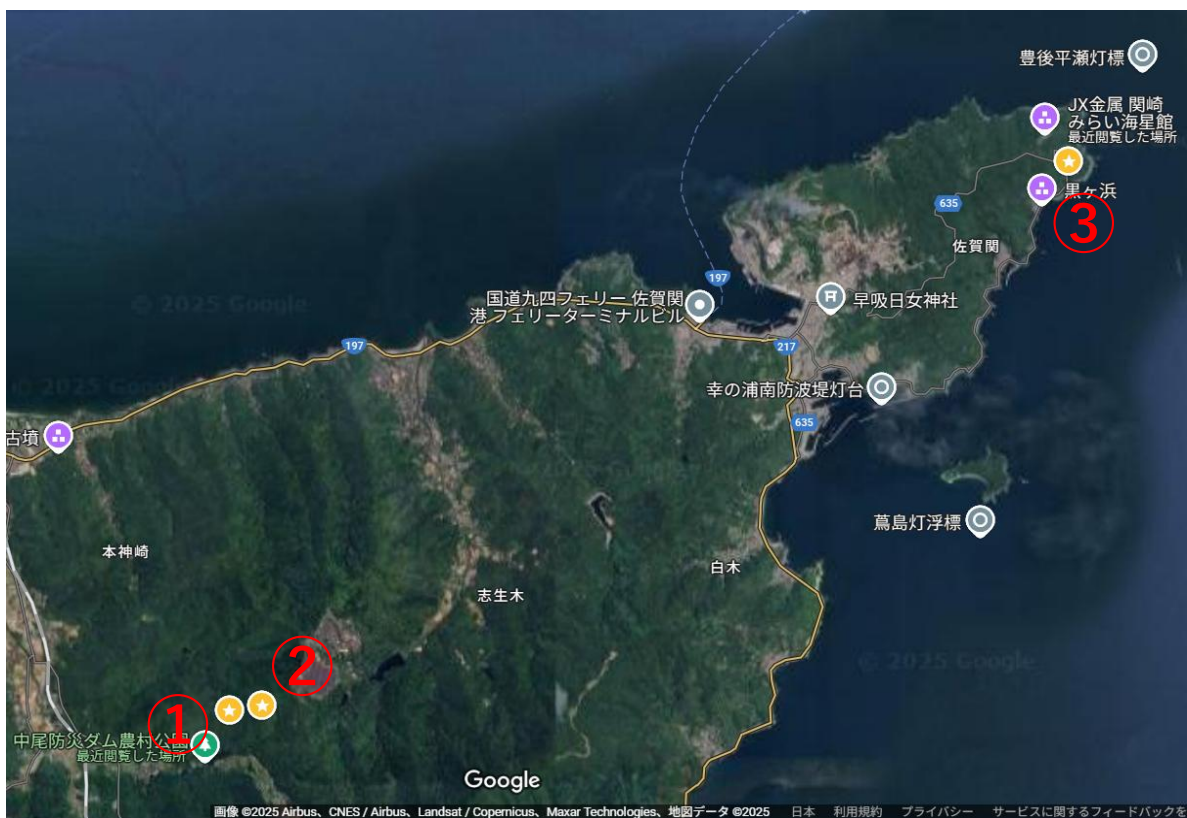
- ① ・ 投棄場所 佐賀関地区 大分市佐賀関木佐上
 ・ 投棄場所の緯度・経度 緯度：33.216579 経度：131.819230
 ・ 種 類 ヒーター



- ② ・ 投棄場所 佐賀関地区 大分市佐賀関木佐上
 ・ 投棄場所の緯度・経度 緯度：33.2622765 経度：131.9019619
 ・ 種 類 テレビ



- ③ ・ 投棄場所 佐賀関地区 大分市佐賀関関崎
- ・ 投棄場所の緯度・経度 緯度：33.185406 経度：131.653529
- ・ 種 類 廃タイヤ20本ほど、廃プラ1.0m³



清掃活動レポート

令和5年7月8日(土曜日) 16:45～	11名	米良工場周辺	米良工場周辺の清掃作業を行いました 連日の雨の為、道路の土砂も少なくいつもより早めに終了しました 今年度から全員参加ということもあり、何とか時間を割いて掃除に来る人も多く 米良作業員、全員1回は掃除をしています。 各々の意識・努力の成果もあり少しずつ米良場内のポイ捨て等も少なくなってきました	高野
令和5年8月5日(土曜日) 16:45～	14名	米良工場周辺	米良工場周辺の清掃作業を行いました 7月下旬の大雨の為、道路の土砂も少なくいつもより早めに終了しました 連日の暑さのため、体調不良による掃除欠席者も数名いました 道路掃除もできる限りの暑さ対策が急務です	高野
令和5年10月7日(土曜日) 16:45～	10名	米良工場周辺	参加人数が少なく、みんなで協力して作業を行いました 道具は足りたものの、もう少し効率をよくするため 次回、道具を買い足すときは道路掃除に適した箒などを検討することになりました	高野
令和5年11月11日(土曜日) 16:45～	15名	米良工場周辺	体調不良者が多く、今月も参加人数が少なめでした 木枯らしが吹く中、協力し砂利の撤去を行いました	高野
令和5年12月9日(土曜日) 16:45～	15名	米良工場周辺	米良工場外の現場作業の職員が掃除に來れず、今月も参加人数が少なめでした 日暮れが早くなり、薄暗い中でみんなで協力して砂利の撤去を行いました	高野
令和6年1月13日(土曜日) 16:45～	19名	米良工場周辺	参加者が多く、作業もスムーズでした 年明けで道路わきの砂利が・砂が多く、みんなで協力して砂利の撤去を行いました スコップがなくなり、掃除の際個数が足りなくなるため 今後、道具の管理を徹底したいと思います	高野
令和6年2月10日(土曜日) 16:45～	15名	米良工場周辺	道路わきの砂利・砂が多く協力して砂利の撤去を行いました プラント作業が遅くなり、数名再参加をお願いしました	高野
令和6年3月9日(土曜日) 16:45～	15名	米良工場周辺	各プラント作業員が残業のため、参加者が少なく範囲を狭めての掃除でした ここ最近の雨風で側溝に砂利もたまっており、みんなで撤去作業を行いました	高野
令和6年4月13日(土曜日) 16:45～	12名	米良工場周辺	米良工場周辺の清掃作業を行いました 各プラント作業員が残業のため、参加者が少なく範囲を狭めての掃除でした 残業後に駆けつけても10分程度しか参加できない作業員もあり、そのような作業員に関しては再参加をお願いするべきか検討する必要があります	高野
令和6年5月11日(土曜日) 16:45～	8名	米良工場周辺	各プラント作業員が残業、欠席者も多く範囲を狭めての掃除でした 土砂量は通常程度でした	高野
令和6年6月1日(土曜日) 16:45～	14名	米良工場周辺	トリニータ戦終了後のラッシュと重なり、下り線が渋滞の為に上り線の掃除となりました 「次回からはトリニータ戦を避けての作業をしたほうがよい」と提案がありました 「高齢の荷宮さんは掃除当番対象外でよいのでは。仕事後で体力もない中で、怪我の心配がある」と意見ができました。今月は改善点が多く、みんなが積極的で良かったと思います	高野
令和6年7月6日(土曜日) 16:45～	13名	米良工場周辺	熱中症アラートが発表されるくらいの高温での業務終了後の清掃活動で体調不良を訴える人が数名いました その分、できる人が掃除をカバーしたり、 清掃後には涼しいところで体を休めるようお互い声掛けをしました 今後は雨天だけでなく高温時の清掃作業は控え 天候の良いときに延期する方法も検討した方がよいようです	高野
令和6年8月31日(土曜日) 16:45～	12名	米良工場周辺	熱中症アラートが続き、延期続きでしたがようやく月末に掃除をすることができました。残業などで参加者が少ない中での作業でしたが、先日の台風で土砂が流れて比較的道路がきれいでした	高野

清掃活動レポート

報告日： 令和6年1月20日

報告者： 首藤めぐみ

報告内容： 清掃活動

日時： 令和6年1月13日(土曜日) 16:45～

参加人数： 19名

活動場所： 米良工場周辺

概要： 米良工場周辺の清掃活動を行いました。

参加者が多く、作業もスムーズでした

年明けで道路わきの砂利が・砂が多く、みんなで協力して砂利の撤去を行いました

スコップがなくなり、掃除の際個数が足りなくなるため

今後、道具の管理を徹底したいと思います



清掃活動レポート

報告日： 令和6年6月10日

報告者： 首藤めぐみ

報告内容： 清掃活動

日時： 令和6年6月1日(土曜日) 16:45～

参加人数： 14名

活動場所： 米良工場周辺

概要： 米良工場周辺の清掃活動を行いました。

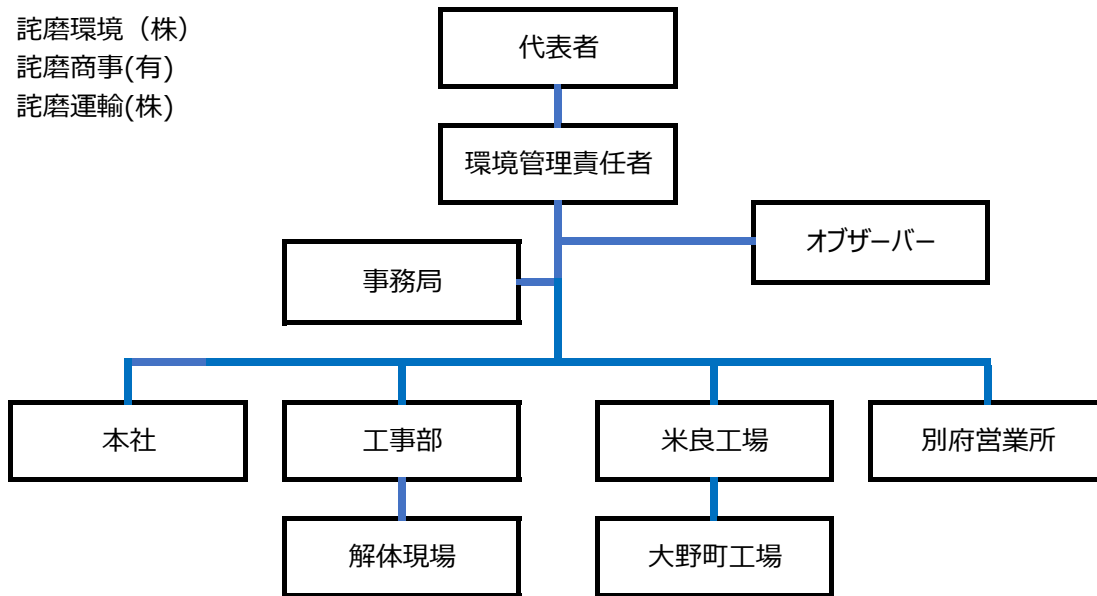
トリニータ戦終了後のラッシュと重なり、下り線が渋滞の為に上り線の掃除となりました。

「次回からはトリニータ戦を避けての作業をしたほうがよい」と提案がありました。

「高齢の荷宮さんは掃除当番対象外でよいのでは。仕事後で体力もない中で怪我の心配がある」と意見がでました。



詫磨環境（株）
詫磨商事(有)
詫磨運輸(株)



役割分担

	役割 権限 責任
代表者	・環境経営に関する統括責任者
	・環境経営に必要な経営資源（人員・設備・費用）を準備する
	・環境経営管理責任者の任命
	・環境経営方針を定める
	・環境経営目標及び環境経営活動計画、実施体制を承認する
	・代表者による全体の評価と見直しを実施する
	・環境経営活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者
	・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する
	・エコアクション21の推進委員会の責任者
	・環境関連法規等のとりまとめ表の承認
	・環境関連法規遵守状況チェック結果の承認
	・環境経営目標、環境経営活動計画、実施体制の確認
	・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認
	・問題点の是正及び予防処置の承認
	・環境経営活動レポートの確認
事務局	・環境経営管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局
	・環境関連文書、記録の管理
	・環境経営活動に関する実施のとりまとめ
	・外部環境コミュニケーションに関する窓口
	・環境経営活動レポートの作成
各部門	・自部門における環境経営活動の実施
	・自部門における環境経営活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する
	・自部門に必要な手順書などの作成・管理
	・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する
	・自主的、積極的に環境経営活動に参加する

毎年定期的な遵守評価の前に制定、改正の確認を行う。

普段から規制の動きには注意を払う。

評価者は環境管理責任者

法律等の名称	当社に適用される要求事項	手続き及び許可者 及び届出先	証拠	評価判定
廃棄物処理法	業の許可（産廃処分業） 政令市 大分市許可 許可番号： 08820143876 大分市 許可の年月日 2018年8月14日 許可の有効期限 2025年8月13日	大分市	許可証	○
	産廃処理施設の設置許可	大分市		
	業の許可（産廃収集運搬業） 許可番号： 04412140296 許可の年月日 2023年1月25日 許可の有効期限 2028年1月24日	大分県		
	排出事業者との契約は2者契約。	排出事業者 処理業者	廃棄物処理 委託契約書	○
	マニフェストの発行 収集運搬受託者 マニフェストの写しを送付 運搬→B1・C2控え 処分受託者 処分終了後、マニフェストの写しを送付 処分→C1控え		マニフェスト	○
	運搬受託者 マニフェストの保存期間 運搬受託者 5年 処分受託者 5年 帳簿の備付 閉鎖後5年保存		保存箱	○
	車の表示（車両の両側面に見やすいように表示）		ステッカー	○
	法21条の3-1元請業者が排出事業となる	排出事業者 処理業者	廃棄物処理 委託契約書	○
	汚泥脱水施設	大分県	許可証	○
計量法	計量器2年1回検査（Iケム）	大分市	検査報告	○
道路交通法	安全運転管理者選任	警察	受講証明書	○
	ドライバーの管理指導をする		運行管理表	○
	車両の点検車検		車検証	○
	アルコールチェック		運転日誌	○
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任	労働基準監督署	安全衛生推進 者の職務の掲示	○
消防法	取扱所・・・危険物取扱所設置許可申請 地下タンク年次点検	消防署	・危険物取扱所 設置許可証 ・地下タンク等定 期点検実施結 果報告書	○
リサイクル法	解体工事での指定副産物の再資源化	排出事業者		○
再資源利用省令	解体工事での指定副産物の再資源化			
建設リサイクル法	解体工事80m2以上 発注者への説明 （分別解体、再資源化方法等）			
廃PCB特措法	解体工事でのPCBの取扱い	専門業者へ委託	該当なし	○
建設廃棄物処理指針	収集運搬及び処理業者の内容確認	排出事業者 処理業者	許可証	○
優良産廃処理業者制度 運用マニュアル	エコアクション21の認証取得業者を選択基準にする	排出事業者 処理業者	公開情報の 確認	○
建設汚泥の再利用に関するガイドライン	建設汚泥が発生する作業では有害物質を含まないお限り 必ずリサイクルする。	排出事業者 処理業者	マニフェスト	○
大気汚染防止法	特定粉塵等排出作業	専門業者へ委託	該当なし	○
ダイオキシン特措法				
廃棄物焼却施設解体作業マニュアル	焼却炉等の解体時のダイオキシンの排出			
廃棄物処理法	石綿の取扱い	事前調査を十分に 行い、作業レベル1 ～2は専門業者へ委 託し、レベル3は保護 具の使用飛散防止 措置を取り知識経 験者の配置及び従 事者教育を行う。	・建物建築 設計書の確認 ・所有者の聞き 取り調査 ・現地確認	○
労働安全衛生法	石綿含有廃棄物等処理マニュアル			
建築物解体等に係る石綿飛散 防止マニュアル	解体現場での石綿の除去			
建築物等の解体等の作業及び の労働者が石綿等に曝露する 恐れがある建築物等における業 務での労働者の石綿曝露防止 に関する技術上の指針	解体現場での石綿の除去			
大気汚染防止法	アスベスト事前調査 調査結果を都道府県に報告する	都道府県	届出書	○
騒音規制法	杭打機掘削機など特定建設作業を指定区域内で行う時	市町村		
振動規制法	杭打機掘削機など特定建設作業を指定区域内で行う時			
労働安全衛生法	特定自主検査	検査業者検査	検査済標章	○
フロン排出抑制法	業務用冷凍庫空調機器及び建設機械の簡易点検・定期点検義務	月1回	管理表	○

・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果の並びに違反、訴訟等の有無

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、消防法、騒音規制法、振動規制法などの違反はありません。

また、訴訟等もありません。過去3年間、関係機関からの苦情や違反等はありませんでした。

問題点の是正・予防処置報告書

作成日 2024/9/5

問題点	台風や豪雨被害への対応は充分か。
原因	浸水被害の想定は事業継続力強化計画に基づく緊急事態の想定と対応策を想定しているが、工場内イン Tanks の軽油や油脂、製品の流出には対応は出来るのか。 天災時の被害を想定するには、未知数であり、公共インフラが不通の場合も同様である。 土砂の流出など、原因が天災でも、その後の対応によっては大きな問題になる可能性もある。
是正・予防計画／是正・予防結果	☐ 是正・予防処置計画 (5W1Hで明確に記入) ◆ 定期的な点検とメンテナンス: : 配管やバルブの状態を定期的に確認し、腐食や亀裂がないかチェック ◆ 油吸着材の備蓄 : 緊急時に備えて、吸着材などを常備 ◆ 作業場の改善: : 機械を安全な場所に設置し、油漏れが発生しにくい環境を整える ◆ 従業員への教育 : 油の取り扱い方法や緊急時の対応について、従業員に定期的な教育 ☐ 是正・予防処置結果 8月末の台風10号が上陸した際も、大きな被害はなく浸水による問題などは発生しませんでした。引き続き日頃からの意識を高く持つことを継続して参ります。
	手順書等の作成・変更 ☐ 有 文 書 名 _____ ☒ 無 文書番号 _____
是正確認	是正後の確認 ☐ 問題の原因が特定されている ☒ 必要な是正（予防）処置を特定し実施されている 環境管理責任者 _____ ☒ 承認 ☐ 要再修正

代表者による全体の評価と見直し・指示

環境経営方針	見直しなし
環境経営目標及び環境経営計画	見直しなし
実施体制	見直しなし

【代表者による全体の評価と見直し】

今期もエコアクション2.1のガイドラインに基づき環境経営を行い売上については目標値を達成することが出来ました。

出荷量が増加したことで電力使用量や重機の使用の増加に伴って目標値を超える結果になりましたが電力会社の見直しによりCO₂排出量などは2割近く目標値を下回る結果になりました。

本社・米良工場・大野町工場に設置したスマートメーターによって視覚で使用量などが社員だけでなく来社した業者へも分かりやすく刺激になっております。

また、2024年4月より労働安全コンサルタントの方に毎月、米良工場にてパトロールを実施していただいております。それにより、普段、気が付かないところを指摘していただき加えて社内で特別安全衛生教育も行えるようになりました。

人手不足な中々解消するのは難しい大きな課題ではありますが、日々、頑張ってくれている社員一人一人が「社会に必要とされている仕事」とやりがいを持って生き生きと働ける会社づくりを継続して参ります。

環境に関する苦情、要望の記録

苦情 No.	受付日	情報源	苦情、要望の概要	対応の概要	確認
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

苦情等はありませんでした。